

協同組合ナガノ駅前センター
如是姫だより

141号

令和7年4月1日発行

発行
 協同組合ナガノ駅前センター
 長野市末広町 1356 ☎226-6569
<http://www.naganoekimae.com>

発行責任者 北村 泰邦



協同組合ナガノ駅前センター
 理事長 中島 克文

令和7年度を迎えて

今年には能登の大地震や羽田空港の飛行機の衝突事故から始まった昨年とは違い、やや静かな初春を迎えましたが、1月下旬にわが末広町内の長野駅善光寺口で悲惨な大事件が発生してしまいました。お客様商売をしているわがナガノ駅前センターの会員の皆様とお客様にも大きな不安と大変な思いと迷惑を掛かるとともに、被害にあわれた方のご家族にはお掛けする言葉がないほど可哀そうでなりません。

そして事件の影響もまだまだあるとおっしゃる店長もいらつやいます。私も今回事業の店長として世界のごきりでも起こることを認識し、安全について再認識し、今後も引き続き安全・安心なまちづくりには行政にお願いすることと自分達で出来ることを区別し協力と努力を惜しまず取り組んで行く覚悟でございます。

さてナガノ駅前センターを取り巻く商業環境も、「イオンモール須坂」が今秋に開業が決まり建築工事が進んでおります、アゲイン跡地活用での大規模分譲マンションも1月末には安全祈願祭が開かれ、その翌日には当組合に直接関係している中心市街地の「長野駅前B-1地区市街地再開発」も基本設計の発表があり、2月19日にはトイゴWESTで進捗状況の説明会も実施され、日々進行しております。

このような中、今までのことをやるのではなく、改善したり新しいことに取り組みお客様様の目を当商店会に向けるような取り組みを今年度も行いたいと思っておりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

今年度もよろしくお願ひします。



長野市長&末広町・ナガノ駅前センター懇談会

長野市長と末広町・ナガノ駅前センターの懇談会が2月13日に行われた。

長野市からは萩原市長、川上経済産業振興部長、小林観光文化部長、北澤都市整備部長と仲介役を担って頂いた寺沢市会議員、末広町からは伊藤区長、ナガノ駅前センターからは中島理事長、柏木副理事長、塩沢勝、田中、三郎、増田、北村の各理事と小林事務局長が出席した。

主催者として中島理事長からは、『新年にはわが末広町内の長野駅善光寺口で悲惨な大事件が発生してしまいました、萩原市長には事件発生当初に市民に向けて安全の確保に十分注意されるよう喚起と、容疑者逮捕後には被害者のご家族への心遣いと不安や心配事を抱えたメンタル面でのフォローについて呼びかけられる素早い対応をしていただきました。』

私どもも安全について再認識し、今後も引き続き安全・安心なまちづくりには協力を惜しまない気持ちで一杯でございます。

さて当組合を取り巻く商業環境も変化しており、市内の商店会が力を合わせて共存できるよう頑張りたいと思ひ、本日ご出席の市長を初め部長さん方のご指導を仰いで前進して行きたいと思ひます。』とあいさつがあった。

日時…令和6年2月13日(木)
 会場…ホテルメトロポリタン長野

また萩原市長は冒頭のあいさつの中で、1月の長野駅前での殺傷事件を受けて防犯対策等を考えていきたい、海外からのお客様が増えて長野駅新幹線改札前に人が集まり過ぎていて感があり対応を考えた方が良くと思うと述べた。長野駅前B-1地区再開発も建物の全体像が見えてきて市民からは期待の声を頂いている事、今後のまちづくりの考え方として昔ながらの門前町を残すことも大事だが防災対応など現在の基準に整備する事も必要と考えていると述べた。

懇談会では中島理事長を初め各理事が駅前地域、長野市の課題について問題提起を行った。内容としては、

- ①長野市内の二次交通(路面電車)と防犯カメラの設置について
- ②長野駅前の再開発について(町の境界について)
- ③如是姫像の台座改修、駅前のモニユメント設置について
- ④末広町通りの街灯設置・防犯カメラ設置について
- ⑤善光寺口エリアの大胆な街作りについて
- ⑥県北部市町村との観光分野の結びつき強化
- ⑦避難所の感染対策について

以上7項目について提案し市長や担当部長との意見交換が行われた。

市長からは今回の懇談会での受けた提案事項は市政の中で活かしていきたいと言及があった。



AC長野パルセイロシーズン前ポスター配布

日時 令和7年2月26日(水)
 参加者 AC長野パルセイロトップチーム選手、スタッフ、善光寺口商店会、パルセイロ活性化委員会

パルセイロの選手が各町のタウンパートナー店舗を訪問して、日頃の支援のお礼を伝え、ポスターを渡し、今シーズンの支援をお願いしました。

今回は雪などで2度延期し、3度目ようやく実施できました。各店舗では従業員の方々が選手と写真撮影をし、ポスターにサインしてもらっていました。

この取り組みはパルセイロタウンパートナー店舗に、チーム強化支援募金箱やポスター掲示を行うことでパルセイロの支援に協力するものです。



千石稲荷初午祭

千石劇場近くに鎮座する千石稲荷の初午祭りが令和7年2月8日土曜日に実施されました。

当日は、朝早くから本格的に降り出した雪を片付けるため除雪作業から始め、準備に思った以上に時間がかかりました。

雪が降る中、除雪の最中にも早いサポーターは並び始め、その後長い列を作って開始を待ちわびておりました。

神主の必勝祈願が終了し、大きな必勝だるまにはご来賓が目を入れ、サポーターの皆様も順番に目を入れ、子供さんも小さなオレンジ色の必勝だるまを嬉しそうに抱えて帰って行きました。



新会員紹介

2025年1月23日 OPEN

地鶏と網焼き 個室居酒屋
鶏匠 長野駅前店

豊富な鶏料理と個室完備の鶏匠。モダンダイニングな空間で落ち着いたひとときを。

おすすめ	
鶏刺し2種盛り	1386円
名物!鶏の網焼き	968円
月見鶏つくね	374円
自家製タルタルのチキン南蛮	858円

末広町 1356 Nacs 末広 3F TEL080-4158-6859

末広町トピックス
 令和7年
どんど焼き

令和7年1月12日(日)
 裾花川河川敷において恒例の岡田町、北石堂町、南石堂町、末広町「4町合同どんど焼き」が開催された。

本年は末広町が年番町として運営を行った。近隣の住民が集まり健康や商売繁盛を祈念し、それぞれ持ち寄った餅などを焼いていた。



私は現在東京で仕事をしており、長野市出身です。観光分野に関わるようになり、長野市の現状も気になることがあり、長野市内でも色々活動しております。

まず、観光分野は今後伸びていく産業だと考えています。観光庁では、2023年実績で約250万人／5.3兆円の訪日外国人観光客数／旅行消費額を、2030年には6000万人／15兆円にするという目標を掲げています。

この中で長野県内の消費額は671億円、訪日外国人のシェアを見てみると、1位 松本市 23万人、2位 軽井沢町 15万人、3位 長野市 11万人、4位 野沢温泉村 10万人となっています。2030年までの観光庁の目標に当てはめると人数で2.4倍、消費額で3倍程度に持つていくにはどうした



実施日…令和7年2月5日(水)
講師…株式会社サイバーエージェント 観光DX事業部 事業部長 湯田 哲行 氏

ナガノ駅前センターミニ講演会 【2月】

長野市のインバウンドの現状と展望

ら良いか。まずは、お客さんを長野市内に泊まらせることが重要だと思います。

長野駅はインバウンドの利用が多いですが、長野市内に宿泊しているのは2割程度で8割は白馬や野沢温泉等に行くための経由地になっています。ここを市内での宿泊に結び付け市内の飲食店に夕食に行く、その他に土産品購入、アクティビティなどでお金が落ちるような仕掛けを作りたいです。

また、長野駅から1時間前後で体験・見学できるような場所、仕掛けも必要かと思えます。先程県内シェア1位は松本市と申し上げましたが何故でしょうか。松本城や上高地など観光地を抱えていることも理由ですが何かしらイベント等の「構想力と推進力」は松本の方が優れていると思います。

2月25日に商工会議所異業種

交流会主催のインバウンドセミナーに関わっていますが、講師を務める佐賀県嬉野温泉の小原嘉元さんという方がいらっしゃいます。この方は地域特産の嬉野茶の徹底的に価値を高めるプロデュースをして成果を上げています。詳しくは講演を聞いて頂くとして、小原氏の手法は今ある地域の資産を磨き上げ、稼ぐことが出来る状態に持っていくかです。長野市で同じような事をやる場合、皆さんのような地域を知る商店主が他の市民や行政を巻き込んでサービスや商品を使ってもらう、買ってもらう事が大事になっていくと思えます。



『如是姫からのおくりもの末広町プレミアム商品券』大好評にて終了

協同組合ナガノ駅前センターは令和5年に続き令和6年度も、『商品券事業』を実施しました。

発売申込みは、令和6年11月3日午前10時より11月5日午後5時まで受け付けました。申込者1,652名で、4,418冊の申し込みがあり、令和6年11月8日午前10時組合役員立会いのもと、パソコンにより厳正な抽選を行いました。

使用期間は、令和6年12月1日から令和7年1月31日まで、29店舗の参加店で使用されました。換金枚数9,884枚、換金率98.8%と、お客様と取扱い会員の皆様から大変ご好評をいただき、「来年度もやって欲しい」との声を多くいただきました。

商品券発売にあたり、ポスター・チラシ・商品券の表紙のデザインを岡学園トータルデザインアカデミーの

生徒さんに依頼し、素晴らしいデザインによりPRになりました。

4年連続の『商品券事業』が好評であったことを受け、中島理事長より今年度(7年度)も実施を検討したい旨のコメントがありました。



令和6年度

第2回 会員意見交換会

実施日…令和7年3月11日(火) 14時30分
会場…南石堂町会公民館
参加者…16名

令和6年度第2回の会員意見交換会が南石堂町公民館で行われた。今回は『長野駅前地域の課題について話しましょう』の大テーマのもと長野駅前地域の5つの課題のうち2つを選んで討論する形式とした。



討論する5つのテーマは

- ① 今秋開業「イオンモール須坂」について
 - ② アゲイン跡地の分譲マンションについて
 - ③ 長野駅前B1地区再開発事業について
 - ④ 長野駅前広場の活用について
 - ⑤ インバウンド対策として宿泊客及び宿泊日数増に向けた取り組みについて
- を挙げた。16名の参加者は4グループに分かれ1テーマ30分、計1時間の討論を行った。その結果イオンモール須坂について3グループ、長野駅前B1地区再開発

について2グループ、インバウンド対策について2グループ、駅前広場の活用について1グループの討論が行われた。

イオンモール須坂については長野駅前地域の既存商店への影響の大きさはどのグループも言及している。ただ、イオンに對抗するよりは共存共栄、双方に良い物が回遊するような対策をしたほうが良い。イオンと違うターゲットを想定した店づくりをしてはどうかといった意見も見られた。長野駅前地域を人が集まる場所、あるいは対策をしなければならぬという点は共通している。

B1地区再開発についても関心は高く末広町としては街の形が大きく変わるため、B1再開発ビル入居テナントについては長野駅前という立地を考慮したテナント構成を期待する声が多い。また、長野駅前地域全体の町の在り方を地域、行政、商工会議所はじめとする商工業団体が一体となって考えるべきとの意見もあった。

増加しているインバウンド(海外旅行者)についても観光産業を長野市の「柱」の一つとして考えたとき商店会としてインバウンド関連の事業を考えていいのではないかとという声があった。提案としては飲食店の紹介ページの作成、インバウンド向けのツアアの実施など提案があった。



駅前広場の活用については従来の緑化活動のほかに人を集める活用を考えてよいのではないかと、県内主要駅の広場としては「暗い」ので明るくしてほしいとの意見があった。